

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年11月16日(2023.11.16)

【公開番号】特開2023-63661(P2023-63661A)

【公開日】令和5年5月10日(2023.5.10)

【年通号数】公開公報(特許)2023-085

【出願番号】特願2021-173613(P2021-173613)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 315 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月8日(2023.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技状態として、第1遊技状態と、前記第1遊技状態より遊技者に有利な第2遊技状態と、前記第1遊技状態より遊技者に有利な第3遊技状態とを有しており、

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する手段と、

前記特定判定の結果が特定結果となることに基づいて前記第2遊技状態への移行が行われることを可能とする第1手段と、

遊技における特定状態にて所定事象が成立した場合に前記第3遊技状態への移行が行われることを可能とする第2手段と、

を備えていることを特徴とする遊技機。

30

【請求項2】

前記第1遊技状態より遊技者に有利な第1状態となり、当該第1状態より後に前記特定状態としての第2状態となることが可能に構成されていることを特徴とする請求項1の遊技機。

【請求項3】

前記第1状態が前記第2遊技状態であることを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記特定判定が行われることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特定判定の結果に対応した報知結果とされることを遊技回の1回として、遊技回が行われるように制御する手段を備え、

前記特定状態に滞在可能な遊技回の回数として複数の回数を有しており、

前記特定状態への移行が生じる場合において前記複数の回数のうちのいずれかを移行対象の前記特定状態での回数として設定する手段を備えていることを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれかに記載の遊技機。

【請求項5】

前記第1遊技状態より遊技者に有利な第1状態となり、当該第1状態より後に前記特定状態としての第2状態となることが可能に構成されており、

前記第1状態において前記第3遊技状態への移行が制限される又は前記第1状態において前記所定事象が成立しないように構成されていることを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれかに記載の遊技機。

50

【請求項 6】

遊技における第1状態より後に前記特定状態としての第2状態となり、当該第2状態より後に第3状態となることが可能であり、

前記第1状態において前記第3遊技状態への移行が制限される又は前記第1状態において前記所定事象が成立しないようにすることを可能とする手段と、

前記第3状態において前記第3遊技状態への移行が制限される又は前記第3状態において前記所定事象が成立しないようにすることを可能とする手段と、

を備えていることを特徴とする請求項1乃至請求項5のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

10

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

遊技状態として、第1遊技状態と、前記第1遊技状態より遊技者に有利な第2遊技状態と、前記第1遊技状態より遊技者に有利な第3遊技状態とを有しており、

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する手段と、

前記特定判定の結果が特定結果となることに基づいて前記第2遊技状態への移行が行われることを可能とする第1手段と、

20

遊技における特定状態にて所定事象が成立した場合に前記第3遊技状態への移行が行われることを可能とする第2手段と、

を備えていることを特徴とする。

30

40

50